



開館以来20年越しの快挙達成！

絶滅危惧種のサメ「シロワニ」の赤ちゃんの展示を開始します

「日本初！シロワニの赤ちゃん展示開始」

2021年10月12日(火)～ 展示開始

<https://aqua-world.jp/shark.html>

日頃より当館の運営にご協力とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

「サメの飼育展示種類数日本一」のアクアワールド茨城県大洗水族館では、6月17日(木)、当館の目玉展示として開館以来飼育しているサメ「シロワニ」に、待望の赤ちゃん(メス)が誕生しました。

日本初、世界で5園館目の快挙達成であり、当館バックヤードで順調に成長してきました。

そしてこの度、赤ちゃんの状態が安定しましたので、10月12日(火)より展示を開始します。

シロワニは、絶滅危惧種に指定されているサメであり、当館でも開館以来その飼育や繁殖に注力してきました。繁殖成功は非常に難しく、世界的にも貴重な展示となっておりますので、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと存じます。

また、本展示に先駆けまして、10月1日(金)より開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展」を開催し、企画展示室を会場として奥深い「サメの新世海」についてご紹介いたします。

ご多忙とは存じますが、取材方々よろしくお願ひいたします。

【リリース概要】

- | | |
|---|----------|
| 1 日本初！シロワニの赤ちゃん展示開始 | (P2～5) |
| 2 開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展 The Mystery of Sharks」開催！ | (P6～9) |
| 3 「超サメ展」連動企画「バックヤードのぞき見ナイト」開催！ | (P10～11) |





1 日本初！シロワニの赤ちゃんの一般公開開始！

○日本初！シロワニの赤ちゃん展示開始

◆日本初、世界で5園館目の快挙！シロワニの赤ちゃん展示開始

2021年6月17日、当館が飼育するサメ「シロワニ」の赤ちゃんが誕生しました。

日本初、世界でも5園館目の快挙達成であり、バックヤードにて日々成長を見守ってまいりました。国内での事例がなく、試行錯誤しながら飼育を行ってきましたが、生まれてから約4か月が経過し、赤ちゃんの状態が安定していると判断したため、2021年10月12日(火)・12時より晴れて常設水槽での一般公開を開始することとなりました。



○シロワニ赤ちゃんプロフィール (2021年9月30日現在)

- ・No.9(メス)
- ・2021年6月17日生まれ
- ・体長:108.8cm
(出生時:92.2cm)
- ・体重:7.6kg
(出生時:4.3kg)

<出生後の経緯>

○6月18日(金)

落ち着いているが、水槽の照明を点灯すると遊泳速度が速くなる。

○6月21日(月)

白色胎便少量排出。出生後初排便。差し棒で給餌を開始。興味を示すが摂餌せず。

○6月22日(火)

水中プロポーション撮影。出生後初。最初、ダイバーに驚き遊泳速度が速くなるが、すぐに落ち着く。以降、約1週間に1回のペースで、水中プロポーション撮影を行う。

○6月28日(月)

差し棒の餌(アジ短冊40g)一切れ摂餌。出生後初摂餌。

○7月6日(火)

底に落ちた餌を拾う訓練を開始。

○7月16日(金)

取り上げ計測。TL:92.0cm、BW:5.0kg
以降、1カ月おきに取り上げ計測を行う。

○8月7日(土)

20cm程のアジを1/2に切ったもの(大きめの餌)に切り替える。問題なく摂餌する。
以降、この餌の給餌を継続する。摂餌量は日によって増減するが、比較的安定して現在まで摂餌している。プロポーションは良好で、全長、体重は現在までほぼ直線的に増加している。



◆シロワニの赤ちゃん展示について

○展示開始日時 2021年10月12日(火)・12時～

○展示場所 3階「世界の海ゾーン1」内・「サメの海2」水槽

※バックヤード水槽から「サメの海2」水槽へ赤ちゃんの移し替えを行います。

◆「シロワニ繁殖」と「サメの飼育展示種類数日本一」へのこだわりについて

①「シロワニとは？」

自然下のシロワニは地域によっては絶滅が心配されるほど生息数が減っています。日本でも生息地域が限定的で特殊な繁殖生態により急激な増加は見込めないため、環境省の海洋生物レッドリストでは2017年に絶滅危惧種としてあげられています。

その一方で、世界的にみると多くの水族館でシロワニは飼育展示されており、堂々とした風格が漂う姿はサメの魅力を伝えるうえで欠かせない存在になっています。

②「繁殖活動の開始と苦悩」

当館で飼育を始めた当初はなぜ水槽内での繁殖が難しいのかも分からず、必ず繁殖させてやると意気込んでいました。ところがいざ飼育している個体が成熟し、発情行動が見られ、交尾が確認できても妊娠にはいたらず頭を悩ませる日々が続きました。「南アフリカ産だから日本の環境には合わないのか?」「雄と雌の発情期がずれているのではないか?」などの憶測を立て、断片的に集めた情報をパズルのピースのように組み合わせ、飼育環境を変化させる実験を繰り返してきました。この間にもシロワニの老化は避けられず、今年が最後のチャンスかもしれないと不安がいつも頭の中によぎっていました。

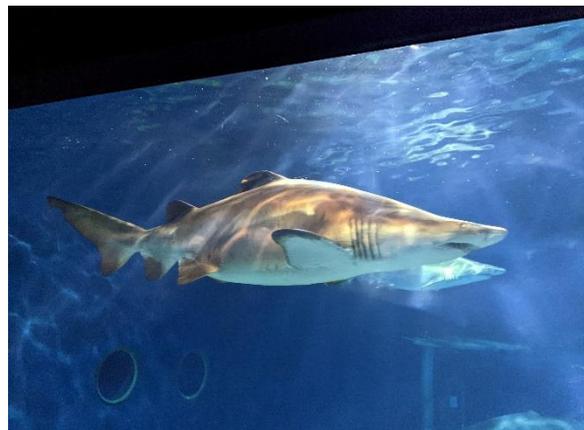
③「繁殖成功への期待と不安」

「今年こそは」という意気込みと「今年もダメかも」という諦めが入り混じり始めた2月、現在シロワニを担当している飼育員から「胎動らしき動きがあった」と報告を聞いたときは、驚きと同時に、「何かの間違ひでは」と疑ってしまいました。自分の目で確認するまでは納得ができず、水槽の前に張り付き観察したところ間もなく、かすかに親ザメの腹が動く様子を見ることができました。この瞬間の興奮はいまでも忘れられません。文献によると、交尾後12ヶ月で出産とされていたため、この後24時間通しての観察を開始しました。飼育員が交代で観察を行ったのですが、予定の日を過ぎても生まれる気配はなく、さすがにみんな疲弊が隠せなくなりました。やがて1か月、2ヶ月と過ぎてゆき、朝は「おはよう」の代わりに「生まれた?」が挨拶になりました。時間は過ぎてゆきましたが一向に生まれる気配はなく、時折現れる胎動に励まされるように疲れた体に鞭を打って観察を続けました。

飼育下での出産例が少ないため、シロワニの出産に関する文献はあまりありません。その文献にも出産までの様子や出産の前兆など詳細に書かれたものはありませんでした。いつ生まれるのか、生まれる前には何が起こるのか不安なまま観察を続けた結果、どの時間に胎動が起こりやすいか、親ザメがどのような行動をするのか今までにないデータを集めることができました。



観察の様子



妊娠中のシロワニ



④「日本初！世界で5園館目の繁殖成功」

交尾を確認してから15か月、観察を始めて4か月になろうかという6月17日早朝、突然変化が起きました。親ザメの排泄孔から白濁液が漏れ始めました。白濁液の量は相当なもので、パンパンに張った親ザメの腹がゆっくり萎んでいきました。「いよいよ出産かな？まだ時間はかかるかな？」程度の気持ちで観察の補助に入り、ビデオ撮影をしていると一緒に観察していた飼育員がいきなり「しっぽが出た！」と叫びました。

これを聞いて、頭の中が真っ白になってしまいました。一番心配していたのがこの状況だったのです。尾から出てくるということは、逆子ということです。逆子では、ヒシなどが引っかかってしまい、うまく出産されない可能性が高くなります。ここまで来て失敗かと冷や冷やしながらも観察をしていると、少しずつ胎内に戻っていき、今度は頭の先端が見えました。赤ちゃんは胎内で反転し体を折り曲げながら、顔をのぞかせたのです。親ザメが体を大きくくねらせた次の瞬間、子ザメはスルリと滑り出すように出産され、のたうち回るように泳ぎだしました。記憶にはないのですが、ビデオには「出る！出る！出る！出た！」と叫び声が記録されていました。シロワニの誕生の瞬間を収めたこの動画は今までにない非常に貴重な記録になりました。

早く掬い上げたいと水槽の上まで駆け上がると、すでに待機していた取り上げ班が活動を始めていました。子ザメはフラフラと水槽の中を泳ぎ続けていたため、重い網を引き摺りながら追いかけて、掬うタイミングを伺っていると運よく水面まで浮き上がってきました。すかさず、網を入れてうまく掬うことに成功し、用意していた一時避難用の水槽に運び込み、予備水槽までの運搬の準備が整う間、「よく生まれてきたな」と撫でまわしてしまいました。

予備水槽に運んだ後も、子ザメは私たちがびっくりするくらい落ち着いていて、心配していた壁への衝突もなく、状態の良さがうかがえました。ここまで来てやっと私も落ち着きましたが、子ザメの可愛さに水槽の縁からしばらく離れることができませんでした。



⑤「今後の飼育に向けて」

ここに至るまで20年の月日が経ってしまいましたが、やっとスタートに立てた気分です。生まれたばかりのシロワニの子ザメの飼育は初めてですが、これまで他のサメの繁殖させた経験を活かし、展示に向けて餌付けなどの馴致を行い、他のサメと同居させてもこの子ザメが困らないように日々、計画的に訓練を重ねています。

⑥「『サメの飼育展示種類数日本一』の水族館として」

水族館ではサメはとても人気者です。「怖い」「カッコいい」感じ方は人それぞれですが、不思議な魅力を持っています。また、サメは生態系ピラミッドの中では頂点にあたる生物です。つまり食物連鎖を考えると多くの生物に支えられて生きている存在です。海の生態系や自然環境などに目を向けるきっかけ作りにも最適な生き物です。しかし、その生態は謎だらけ。いまだに毎年、新種も見つかっています。飼育員にとっては、追っても追っても次々に疑問を持たせてくれる、面白い生物です。今回、シロワニの繁殖に成功しても、妊娠期間や出産までの行動が過去の知見と違うのはなぜだろう、それぞれの行動にどのような意味があったのだろうと新しい疑問を持たせてくれます。

今後も謎だらけのサメの生態を追い続け、研究を重ねることにより、皆様に新たなサメの魅力を伝えてまいります。



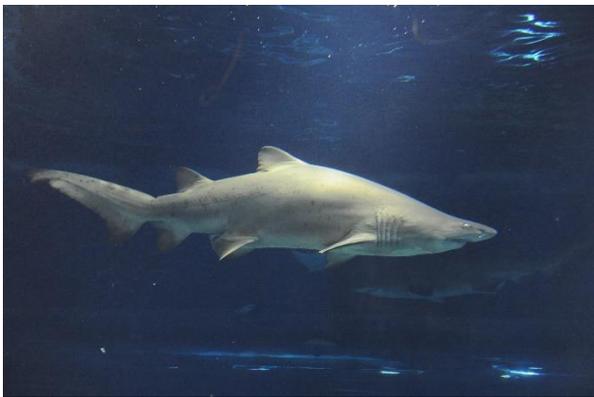
◆ 担当飼育員からのメッセージ

無事生まれてくれたのでホッとしました。何よりも生まれた瞬間は興奮すぎて、記憶がありません。水槽前で生まれる瞬間を見ることができたのですが、確認すると同時に取り上げのため体が勝手にバックヤードに向かって走っていました。今回の親魚も子供の時から娘のように育てている個体ですので、その子供はかわいくて仕方ありません。おじいさんが孫を見る目はこんなものかなと思っています。

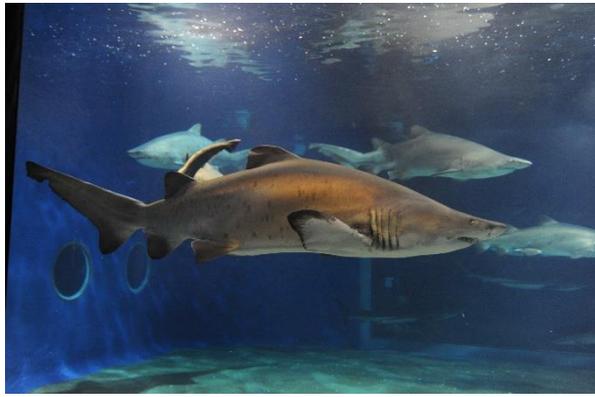
◆ 「シロワニ」について

- ・和名:シロワニ(ネズミザメ目 オオワニザメ科)
- ・英名:Sandtiger Shark
- ・学名:*Carcharias taurus*
- ・生息地域:大西洋の温帯～熱帯域、地中海、インド洋～西部太平洋
- ・特徴:細長くて鋭い歯をした凶暴そうな顔つきですが、おとなしい性格のサメです。
胃の中に空気を飲み込んで浮力を調節します。水槽でも空気を吸うため水面に上がってきます。
当館では1999年6月から飼育を始めました。

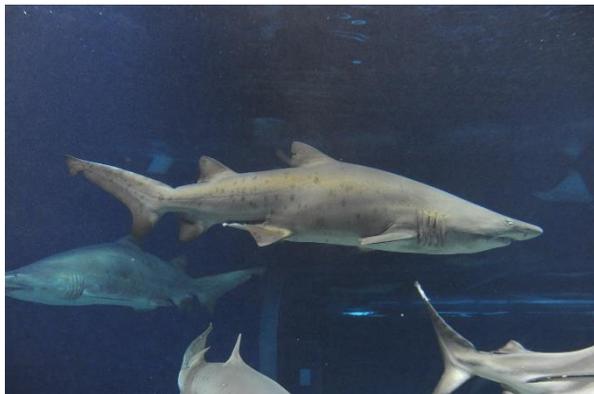
＜当館で飼育するシロワニ＞



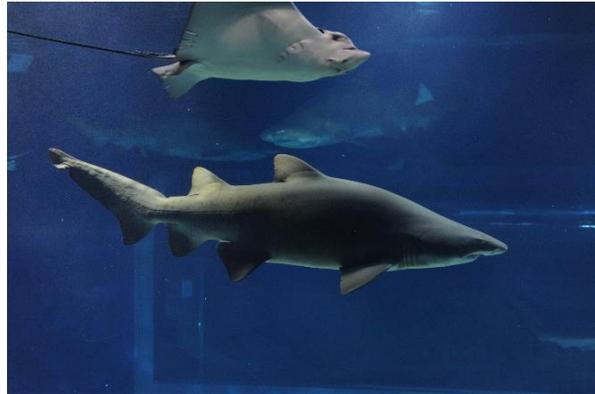
No.1(メス) 特徴:各ヒレの縁がギザギザ



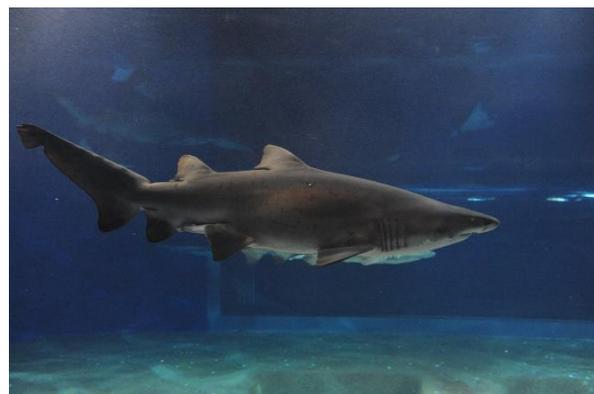
No.3(メス) 特徴:背ビレが折れ曲がっている



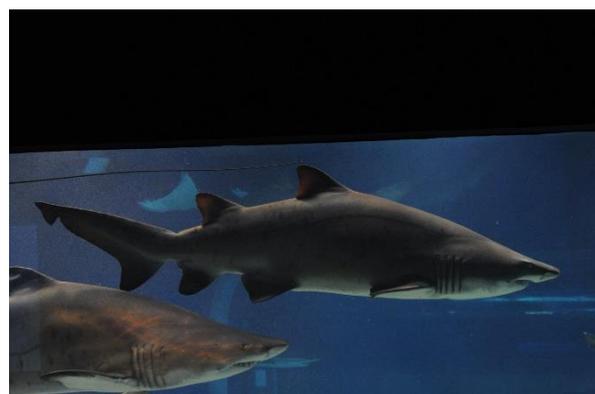
No.4(オス) 特徴:第一背ビレに大きな切れ込み



No.5(メス) 特徴:吻がやや下向き



No.6(オス) 特徴:胴が短い



No.7(メス) 特徴:吻の左側面にスリ傷の跡



2 開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展 The Mystery of Sharks」開催!

○開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展 The Mystery of Sharks」開催!

◆サメファン必見! 開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展」開催

開館20周年記念事業の第3弾として、当館が誇る目玉展示のサメ「シロワニ」をメインテーマとした企画展「超サメ展 The Mystery of Sharks」を2021年10月1日(金)より開催いたします。

本企画展では、長年の研究成果や数々の秘蔵資料を一挙公開し、サメたちのミステリアスで底知れぬ魅力に迫ります。

また、奥深いサメのミステリーを解き明かし、世界に一つだけの「サメブック」を作る体験型イベント「なぞときラリー」や、サメマニア必見の期間限定特別プログラム「サメ給餌体験ツアー」など、盛りだくさんの内容で皆様に「サメの新世海」をお届けいたします。



※2021年9月16日(木)からの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、10月1日からの公開となります。

①日本初の「シロワニ」繁殖成功への軌跡等、サメ研究20年の成果を展示

シロワニの赤ちゃん誕生までのヒストリーや、当館が開館以来20年間取り組んできたサメの展示・繁殖への取り組み等について、動画やパネル解説などにより紹介します。

■シロワニ赤ちゃんコーナー

サメ水槽前にシロワニ赤ちゃんの出生時の体長・体重を再現した実寸大ぬいぐるみを抱けるコーナーを設置いたします。





■「シロワニタワー」展示

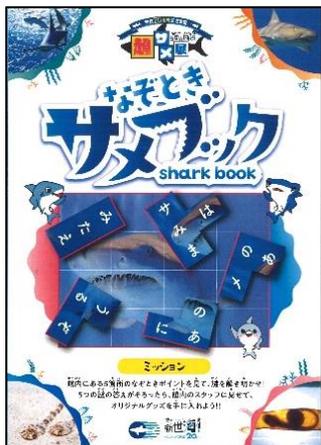
当館で飼育するシロワニの実際の大きさを体感することができる「シロワニタワー」展示を行いますので、シロワニの大きさ、迫力を体感してみてください。



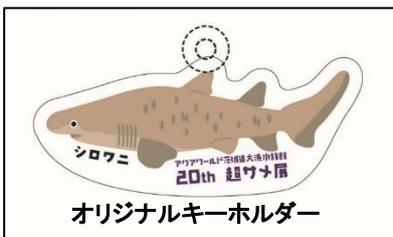
②世界に一つだけのサメブックをつくる「なぞときラリー」開催！

謎多き海の王者であるサメの不思議な生態について、なぞときゲームを交えながら学習することができるイベント「なぞときラリー」を開催します。

参加者には「超サメ展」オリジナルキーホルダーをプレゼントいたします。ぜひ挑戦してみてください。



※画像はイメージです。



オリジナルキーホルダー

※画像はイメージです。

○参加費 お一人様500円(税込み)

3階・総合案内所前に設置された券売機にてチケットをお買い求めください。

総合案内所にてチケットと引き換えにサメブックをお渡しいたします。

③期間限定特別プログラム「サメ給餌体験ツアー」開催！

当館のバックヤードで飼育しているサメたちに直接餌をあげることができる特別プログラム「サメ給餌体験ツアー」を人数限定で開催します。

サメを見るだけでは飽き足らない「サメファン」必見のプログラムですので、ぜひご参加ください。



○開催場所 バックヤード水槽

○開催時間 14時15分～(約45分間)
※「超サメ展」期間中、毎日開催

○参加費 お一人様1,000円(税込み)
※1日10名限定

3階・総合案内所前に設置された券売機にてチケットをお買い求めください。



④数量限定「超サメ展」特別デザインの年間パスポート販売

「超サメ展」開催を記念し、「超サメ展限定デザイン・年間パスポート」を販売します。

※1,000枚限定



○販売価格

大人4,000円(税込み)、小中学生1,800円(税込み)、幼児(3歳以上)600円(税込み)

※所定の申込用紙に必要事項を記入し、入場券販売窓口にてお申込みください。

※年間パスポート作成にあたり、当日お写真撮影がございますのでご本人のご来館が必要となります。

⑤来たれ！サメマニア「サメ満喫セット」販売

サメの飼育展示種類数日本一を誇る当館が、サメを愛して止まない方へ向けたサメグッズが盛りだくさんの入場券付き特別パック「サメ満喫セット」を販売します。心も体も「サメ」で満たされること間違いなし！

○セット内容

入場券、なぞときサメブック、サメカレー(レトルト)、サメカプセルフィギュア(中身は選べません)



○販売価格

大人3,500円(税込み)、小中学生2,400円(税込み)、幼児(3歳以上)1,800円(税込み)

※「アソビュー」WEBチケットでの販売となります。

<https://www.asoview.com/channel/ticket/qk2rIVYZU2/ticket0000010171>



⑥アクアワールド・大洗限定グッズ及びカフェメニュー販売

シロワニの赤ちゃん展示開始を記念したオリジナルグッズや、「超サメ展」限定フードを販売します。



●シロワニの赤ちゃんぬいぐるみ (NEW)

9,800円(税込み)

生まれた当時の赤ちゃんをモデルに飼育員がこだわって作りました。日本で初めて「シロワニの赤ちゃんぬいぐるみ」が誕生!



●シロワニの赤ちゃんキーホルダー (NEW)

650円(税込み)

数量限定!シロワニの赤ちゃん誕生記念のキーホルダーです。売り切れ前にゲット!



●シロワニの赤ちゃんタオル (NEW)

480円(税込み)

シロワニの親子をモチーフにした日常使いにピッタリの可愛いデザインの手タオルです。



●超シャークカレー 700円(税込み) (NEW)

オリジナルのサメ型ライスに当館自慢のサメカレーとシャークナゲットをトッピング!



●超シャークコンビ 500円(税込み) (NEW)

サメ肉を使用したナゲットとフライのセット。マヨネーズをベースに辛口風味と梅風味の2種類のオリジナルディップ付き。



●シャークソフト 550円(税込み) (NEW)

本物のふかひれを使ったぜいたくなソフトクリーム。はちみつの甘さとふかひれの食感の絶妙なハーモニーを味わえます。



3 水族館の「裏側」を楽しめるナイトイベント「バックヤードのぞき見ナイト」開催

(3)「超サメ展」連動企画「バックヤードのぞき見ナイト」開催!

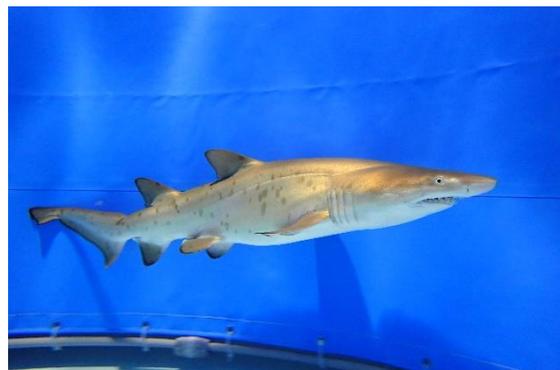
◆ サメ水槽の裏側も楽しめちゃう「超サメ展」連動企画! ナイトイベント「バックヤードのぞき見ナイト」開催



「超サメ展」で紹介するサメたちをはじめ、普段はなかなか見ることができない水族館の「裏側」を楽しむことができるナイトイベント「バックヤードのぞき見ナイト」を1夜500名限定で開催いたします。水槽脇に設置されたQRコードを読み取ることにより、バックヤードの様子を動画で楽しむことができる、スマートフォンやタブレットを使用した新感覚のナイトイベントです。

①「バックヤードのぞき見ナイト」限定! シロワニ繁殖ストーリー紹介

日本初の繁殖に成功した「シロワニ」の親個体がアクアワールド・大洗に搬入されてから、今回の赤ちゃん展示に至るまでの20年間のストーリーを「超サメ展」では公開していない秘蔵映像で紹介いたします。

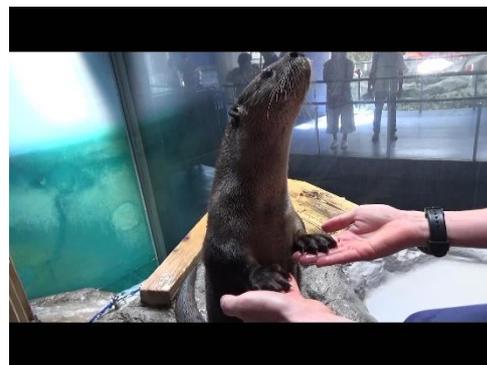


○開催場所

①2階・出会いの海の大水槽 ②4階・オーシャンシアター ③5階・お魚発見教室内 レクチャールーム

②誰でも参加できる「バーチャルバックヤードツアー」開催!

「水族館内の色々な所のバックヤードを見てみたい」という要望に応え、皆さんがお持ちのスマートフォンやタブレットでQRコードを読み取れば、誰もが、好きな時に好きな順番でバックヤードの様子を「のぞき見」することができる「バーチャルバックヤードツアー」を楽しむことができます。



バックヤード・イメージ

○開催場所: 館内・各水槽脇に QR コードを設置いたします。

お手持ちのスマートフォンやタブレットで、水槽の裏側を動画でお楽しみいただけます。



③バックヤードのぞき見ナイト限定！「バックヤードウォーク(6階)」開放

普段は入ることができない6階のキーパーデッキを開放し、当館が誇る水量1,300tの大水槽「出会いの海の大水槽」やサメ、マンボウ水槽などを上部から観覧することができます。水槽前で見た動画も合わせれば、水槽を前・後ろ・上の3方向から見る事ができる、とっても貴重な企画です。

この機会にぜひアクアワールドの裏側をご覧いただき、一味違った水族館の楽しみ方を体感してみてください。



④「Twitter」投稿で記念品プレゼント！

当イベントの様子を撮影した画像にハッシュタグ「#アクアワールド大洗#のぞき見ナイト」をつけてTwitterへ投稿したお客様全員に、当館オリジナルの「クリアファイル」をプレゼントいたします。夜の水族館ならではのお気に入りの1枚を撮影し、ぜひ投稿してみてください。



オリジナル・クリアファイル

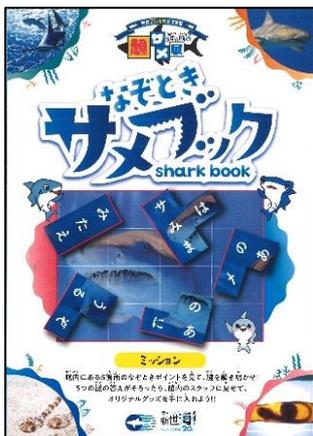
○プレゼントお渡し場所:3階・総合案内所

※対象は「**高校生以上の方**」とさせていただきます。

※Twitterに投稿した画面を総合案内所スタッフへご提示ください。

⑤夜の「なぞときラリー」開催！

「バックヤードのぞき見ナイト」でもサメブックが購入できますので、日中とは一味違った夜のサメたちの姿を観察しながらの「なぞときラリー」をぜひお楽しみください。



※画像はイメージです。

○参加費 お一人様500円(税込み)

3階・総合案内所前に設置された券売機にてチケットをお買い求めください。

総合案内所にてチケットと引き換えにサメブックをお渡しいたします。



各イベント概要および営業案内

◆ 日本初！シロワニの赤ちゃん展示開始

- ① 展示場所
3階「世界の海ゾーン1」内・「サメの海2」水槽
- ② 展示開始日時
2021年10月12日(火)・12時～
- ③ ホームページ
<https://aqua-world.jp/shark.html>



◆ 開館20周年記念事業・第3弾「超サメ展 The Mystery of Sharks」

- ① 開催場所
4階「企画展示室」、3階「世界の海ゾーン1」及び館内各所
- ② 開催期間
2021年9月16日(木)～12月5日(日)
- ③ イベントホームページ
<https://aqua-world.jp/shark.html>



◆ バックヤードのぞき見ナイト

- ① 開催日
2021年10月16日(土)・23日(土)・30日(土)
- ② 開催時間
18時～20時(最終入館時間は19時)
- ③ 参加費
大人2,000円(税込み)
小中学生900円(税込み)
幼児(3歳以上)300円(税込み)
※チケットは「asoview!」WEBチケットでの販売となります。
<https://www.asoview.com/channel/ticket/qk2rIVYZU2/ticket0000008694/>
※年間パスポート、前売券、招待券でのご入場はできません。
※スーベニアショップ「モラモラ」、コレクターズショップ「ガレオス」、リラクスカフェ「マーメイド」は営業いたします。フードコートは営業いたしません。
- ④ イベントホームページ
<https://www.aquaworld-oarai.com/news/33564>





◆ 営業案内(通常営業)

① 営業時間

9時～17時(最終入館時間は16時)

※詳細につきましては当館ホームページをご覧ください。

② 入場料金

大人2,000円(税込み)、小中学生900円(税込み)、幼児(3歳以上)300円(税込み)

※年間パスポート、前売券、招待券でのご入場も可能です。

③ アクセス

(住所)

〒311-1301

茨城県東茨城郡大洗町磯浜町8252-3

○お車でお越しのお客様

東水戸道路・水戸大洗ICより約8km、約15分間

○電車でお越しのお客様

①ひたちなか海浜鉄道 那珂湊駅下車、バスで約6～7分

②鹿島臨海鉄道 大洗駅下車、バスで約15分

④ お客様へのお願い

- ・咳や発熱など風邪のような症状のある方、過去14日以内に発熱や感冒症状で受診・服薬等をした方、過去14日以内に感染拡大している国や地域への訪問歴のある方はご入館をお控えください。
- ・入場口で検温を実施いたします。検温の際37.5℃以上の発熱が確認されたお客さまにつきましては、ご入場をお断りさせていただきます。
- ・ご来館中に発熱などにより体調が悪化したり、気分が優れなくなった場合は、速やかにスタッフまでお申し出ください。
- ・「消毒液」を各出入口に設置しています。こまめな手洗いや手指の消毒をお願いします。
- ・ご入館のお客さまはマスクの着用をお願いします。お持ちでないお客さまは咳エチケットの徹底をお願いします。ただし、2歳未満のお子さまは除きます。
- ・お客さま同士、可能な限り1～2mほどの間隔をおとりください。
- ・国の緊急事態宣言対象地域やまん延防止等重点措置区域との不要不急の往来は自粛が要請されております。詳しくは国や茨城県のホームページをご覧ください。
- ・「いばらきアマビエちゃん」をぜひご利用ください。

https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/chusho/shogyo/2020koronatsuuchi/20200615.html?_fsi=PSbTGk6c&_fsi=PSbTGk6c

- ・ご来館にあたりましては、あらかじめ茨城県の新型コロナウイルス感染症に関する対策方針等をご確認くださいませようお願いいたします。

https://www.pref.ibaraki.jp/index.html?_fsi=PSbTGk6c